

## おの 100 で変わった自分

「時間をうまく使えない人間ほど、時間が足りないと不満を言う。」  
これは、あるフランス思想家の言葉です。この言葉を聞いて、みなさんはどう感じますか？  
「時間が足りないものはしょうがない。」と反感する人、「いやいや、全くその通りだ。」と同感する人など、様々だと思います。私は前者の「時間がない」と思う人間でした。「時間がない」という言葉は、とても都合の良い言葉です。この言葉ひとつで許してもらえることがたくさんあるからです。私はこの魔法の言葉にずっと甘えていました。でも、おの 100 を通して、この「時間がない」という魔法の言葉は、ただ自分の言い訳を正当化するものにすぎないと知りました。どうしてこのように考えが変わったのか、その理由を以下に 2 点述べたいと思います。

まず 1 点目は、「今できないことは、明日も、あさっても、来年も、ずっとできない。」ということを知ったからです。私は小さい頃から「教師になりたい」という夢を追いかけてきました。ですが、私は本当に人前で話すことが苦手で、極力人前で話す機会は避けてきました。にもかかわらず、それに対して改善しようとか、自分を高めようとかもせず、「教師になれば話せるだろう。」と、根拠のない自信を抱いていました。そんな私の自信はおの 100 の研修で打ち砕かれました。初めての研修。振り返りの時間にスタッフ約 60 人の前で話した時、頭が真っ白で、言いたいことも言えませんでした。そんな私とは対照的に、先輩方は、順序良く、ハキハキと、分かりやすく話されており、その姿に圧倒され、ただただすごいと思うばかりでした。「なんであんなにうまく話せるんだろう...」先輩方に憧れを抱いた私は、先輩方の話し方を少しずつ真似するようにしました。すると、言いたいことを自分の中で整理して、話せるようになってきました。先輩から「自信を持って話せるようになったね。」と褒められた時は、本当に嬉しかったです。この経験を通して「何事もひとつひとつの積み重ね」だと気づきました。部活が毎日の練習の積み重ね、限られた時間をいかに有効に使うかを考えるのと同じように、話し方や振る舞いも、毎日の積み重ねがあるからこそレベルアップするのだと知りました。できないことから逃げているは、いつまでたっても何も変わらない。「時間は万人に平等に与えられている」のだから、「時間がない」のではなく、自分が「時間を見つけよう」とする姿勢がなかったことに気づきました。

2 点目は「1 日 1 日を大切に生きる」ことを知ったからです。「時間は平等に与えられている」とはいっても、一生の時間は人によって異なります。ですが、それが長かろうと短かろうと、この世に生を受けた私たち一人ひとりには「使命」があります。おの 100 の事業趣旨の 2 つ目「生涯学習(やりがい・生きがいの創造)」にも書かれているように、「自分自身の学びを人に伝えていく」ことは、自分にしかできないことです。私たちは、生まれた時から誰もが必ず迎える「死」への道を歩んでいます。当たり前にあるような「明日」だけど、無限にあるように感じる「時間」だけど、限りが存在しています。だったら、楽しんだほうが

良い!!!悔いのないように生きたい!!!と思います。二度とない”今の時間”を無駄に過ごしたら本当にもったいないです。「時間がない」と言い訳し「あの時もっとやっておけばよかった」と後悔するより、「自分の生き方に満足!」と笑って胸張れるように生きたいです。私は「人生を楽しんでいる人は、時間をうまく利用している人」だと思います。自分の「使命」を果たし、時間をうまく使い、人生を楽しく生きられる、そんな人間になります。

おの100での学びは、本当にたくさんあります。そしてまたその学びは、一人ひとり違うものです。おの100に人生をかけて取り組んでくださる KAKI さん、支えてくださっているねえやんがいるから、また地域の皆様、多くの先輩方、企業の方々など、多くの人の手、愛情、感謝でできているおの100 だからこそ、今までにない学びや発見があります。たくさんの方から頂いた愛情と感謝の気持ちを忘れずに、おの100での学びを社会に還元できる人間になれるよう、これからも日々精進していきます。

KAKI さん、ねえやん、おの100に関わるすべての皆様、学生スタッフの皆様、家族に、心から感謝をこめて。